

# ●▲ みねのぶ



コープさっぽろ「らいす&べじたぶる農業交流会」  
田植え体験（6月1日）



ビル外壁に創立100周年祝う幕貼る  
（6月12日）

- 発行日/平成26年7月1日/No.1347号
- 発行/峰延農業協同組合  
〒079-0192 美唄市字峰延37番地  
Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793  
ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>
- 編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

**JA女性部がプランター設置**

6月10日、JA女性部（部長吉村俊子）が、恒例のプランター作りを行いました。

4基のプランターに8種類の花の苗を彩や高さを考えながら一株ずつ丁寧に植え込みました。

作ったプランターは営農事務所と営農資材店舗の出入口に設置してあります。

女性部の皆さんありがとうございました。



出来上がったプランター

**6月臨時理事会の開催について**

6月12日開催の臨時理事会にお

いて次の事項が決定されました。  
1. 夏季賞与の支給について

**第5回（6月）定例理事会の開催について**

6月25日開催の理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1. 資金の貸付について
2. 規則・規程の一部改正について
- (1)就業規則
- (2)準職員就業規則
- (3)人事考課規程
3. 施設利用料の改定について
4. 大規模修繕（舗装工事）の契約について
5. 持分の譲渡について
6. 持分の減口について
7. 農業委員会委員の推薦について

**おくやみ申し上げます**

渋谷 リエさん（88歳）5月16日  
札幌市西区

長内 利八さん（79歳）5月18日  
美唄市峰延町峰樺一區

**一円融合（一円観）**

二宮先生の語る「万象具徳」は、岩石、鉱物、水など無機物はもちろん、風雨や潮の干満、寒暑な

どの諸現象をも含む。森羅万象すべてに徳ありという概念であります。ここまで思い至れば、もろもろの環境と我が身は「一つ」という先生の「一円観」に到達します。天と地、昼と夜、明と暗、右と左、高いと低い、自分と他人、我が身と環境、自分と集落、相手と自分、等々、すべて相對する「ものの半円」を見ています。その相對する半円を融合して「一円」と観じます。融合するには、自他振替により相手のことに十分に配慮して、誠実に譲り合わねばなりません。これが、先生の「一円観」であります。

自他振替の教えとは、世の中のことはずべて、右と左、上と下、表と裏、自分と相手とあるが、常に対するものを振り替えて、對する立場に立つて、見直してみるとが大切だと教えています。

八木繁樹氏の説明を引用させてもらうと、「たとえばここに一人のサラリーマンがいて、この人は月給が目的で働いているとすると、この人の働き、つまり勤労は目的である月給を獲得するための手段に過ぎないことになる。だから、仕事が忙しくなったりすると、「こ

んな安月給で働けるもんか」という気が起こる。この気持ちだが、仕事の能率をも下げることになる。従って月給も地位も上がらない。ますます厭になる。こういう悪循環が起こることになる。

先生はここで「自他振替」をすすなわち、自分が今日働かせていただけるのは、天地人一切の恩徳のおかげである。そのおかげに報いるために、今日一日、自分の労働を捧げなければ相済まないと考えて、報恩・報徳の心で働く。しかも報徳として働くのだから、その仕事内容はすべて善の実行であり、積善の実践という結果になるわけである。目的は月給の獲得ではなく、仕事そのものが目的である。しかもその結果は、積善の集積である。それに対して天道は月給を与えてくださると考える、すなわちこれが「自他振替」である。先生の勤労・分度・推諫論は、この自他振替の哲理が、その裏打ちとなつていたのである：云々と。

このように考えることが、「幸せ感」が得られ、大いに役立つ事になります。

**一報徳**



高橋農園(6月26日)

### ハスカップ狩り6月25日から始まる

本年のハスカップ狩りは、6月初旬までの好天が影響して昨年より8日早い6月25日から始まりました。

6月に入ると、常連のハスカップ狩りの皆さんから開園日の問い合わせの電話が農協に相次いでいました。

開園日を決めるにあたり、6月18日に生産農家と普及センター、JA職員が各生産者のハスカップの生育状況を見て回り開園日を6月25日に決定しました。

高橋農園(豊葦町)では初日の25日に早朝5時頃から昼までに51人が訪れ173kgを摘み帰りました。

### 《ハスカップ狩り》

・期間：6月25日から約3週間  
(ただし、ハスカップの実がなくなり次第終了します。)

・料金：入園無料

・摘み取った実は全量持ち帰り1kg1100円

・摘み取り済みは、1kg2000円

・問合せ先：JAみねのぶ経済部販売企画課(0126-6712112)

### 第1回自治監査実施

本年度の第1回目の自治監査が、4月末日を基準日として6月18日から3日間の日程で浅香代表監事以下3名の監事により執行されました。

自治監査の実施は一事業年度に四半期毎に4回が計画されていて、今回は本事業年度で最初の監査となります。総会で議決された本年度の事業計画に対し四半期毎に本年度の計画並びに前年度実績と比較し事業の進捗状況を確認し合わせて会計処理の適正等も監査が行

われます。

最終日に、浅香代表監事から常勤理事、幹部職員に対し監査講評が行われました。

### ビル外壁に100周年祝う幕を貼る

6月12日、農協ビルの国道側の外壁に『祝創立100周年一圓融合』と記し、米や野菜などの産物の写真をプリントした幕を貼りました。

この幕は、年内は外壁に貼られ、往來の車や人々に歴史のあるJAをアピールします。



幕を貼る作業

### 森川末子さんから善種金に推薦

森川末子さんから、過日他界されたご主人巨さんが生前お世話になった峰延農協と農協組合員の皆さまに感謝を申し上げますと善種金に1,500,000円の推薦をお受けいたしました。

### 本年度新採用職員紹介

本年度新採用した職員を紹介します。(7月1日付け)

本人には、一日も早く職場に慣れ担当業務を覚えて一人前のJA職員になるように申し伝えてあります。皆さまのご指導、ご鞭撻をいただきますよう宜しくお願いいたします。

・氏名 奥山翔平(おくやましようへい)

・出身 美唄市

・年齢 23歳

・最終学歴 酪農学園大学



**米・麦・大豆の出荷契約終える**

今年収穫される米・大豆等と来  
年収穫する小麦の出荷契約推進が  
5月29日から約10日間にわたり行  
われました。

森川組合長が推進本部長となり、  
男子職員17班体制で関係組合員宅  
を直接訪問し、それぞれ契約が行  
われました。

今回の出荷契約推進に先立つて  
5月28日の業務終了後に全職員を  
集めて研修会が開催され担当部署  
から契約推進の説明が行われまし  
た。

契約推進は1班当たり約15戸を  
受け持ち、訪問先の組合員の皆さ  
まには温床の後片付けや水稲苗の  
補植作業等を中断しての対応や早  
朝、夕方にも対応いただきました  
ことを厚く感謝申し上げます。今  
後は一俵でも多く出荷いただきま  
すようお願いいたします。

**JA共済一斉推進終わる**

本年度の長期共済一斉推進は、  
6月16日から4日間の日程で実施  
されました。

例年通りJA男子職員とJA共  
済連の応援1名による2班体制で

組合員宅に出向き推進を行いました。  
また、今回の一斉推進に先立  
つて、5月30日にJA共済連職員  
が講師となり推進に当たる職員を  
集めて研修会が開催され、推進の  
必要性や推進のポイント等を研修  
しました。

今回の一斉推進では、長期共済  
を始め、農作業機コンバイン等の  
自動車共済、後継者の方に年金共  
済をご加入いただき、保障額で13  
億4千万円の推進結果となりました。  
ご加入に対して厚くお礼申  
し上げますと共に各戸への訪問の  
際には農作業を中断してご対応い  
ただき感謝を申し上げます。

今後は推進期間中にあいにく不  
在でお会いできなかった方を含め  
再度訪問いたしますので宜しくお  
願いいたします。

**「小林篤一翁顕彰公園」  
雑草取り行う**

6月24日、小林篤一翁顕彰公園  
内の雑草取りを行いました。雑草  
取りを行ったのは、当JAの役員  
OBで構成する協栄会（会長岩間  
啓一）の皆さんで、毎年6月と9  
月の2回行っていきます。

午前8時過ぎから協栄会の皆さん

11人とJAの森川組合長、伊藤  
専務ら4人、総勢15人が雑草取り  
を始め1時間ほどで作業を終えま  
した。役員OBの皆さんは久々に  
顔を合わせてお互いに近況などを  
話しながら作業に励んでいました。  
作業を終えて、岩間会長は当日の  
お礼と本年秋にも雑草取りをお願  
いしたいと述べていました。



お礼を述べる岩間会長

**6月は記録的な日照不足、長雨**

道内は6月初旬の記録的な猛暑  
から一転し6月6日から曇天、雨  
天が続いていて、記録的な日照不  
足と長雨が続き、今後は農作物の  
生育遅れなどの影響が心配されて  
います。

気象庁の気象データをみると、

6月6日以降の日照時間は平年値  
の1日6時間前後から1時間足ら  
ずに激減、降水日の連続記録も更  
新しました。

岩見沢では、6月の日照時間は  
平年では1年のうちで5月に次い  
で2番目に長く、降水量は1年で  
一番少ないが、今年の6月は本州  
の梅雨並みのじめじめ天気となり  
ました。

例年より偏西風の勢力が弱いた  
め、より大きく南北に蛇行し高気  
圧と低気圧が閉じ込められて移動  
できなくなり、日本海北部に低気  
圧が停滞、温かく湿った空気が北  
海道に流れ込んだのが原因で、6  
月初旬の猛暑が続いたのも同様の  
理由で高気圧が停滞したためでし  
た。

**食育  
峰延小、南美唄小が合同で  
田植え体験**

6月5日、JA青年部が中心に  
なり食育の取り組みとして、沼田  
昌樹青年部長の圃場で峰延小学校  
と南美唄小学校の2校合同の田植  
え体験が行われました。昨年まで  
は各校が別々に行っていました。が、  
日程調整の関係からJA・青年  
部・各小学校で協議を行い、本年



苗の植え方を指導

から2校合同で行う事になりました。当日は青年部から15名、女性部から3名、JAから2名がサポ―ト、生徒は2校合わせて24名が参加しました。最初に沼田部長の開催の挨拶で、「皆さんが普段口にかけている米が、どれだけの手間がかかって作られているかを少しでも感じてもらえればありがたい。」と述べました。次に、星営農専門委員長が田植え作業のポイント等の説明があり、「小さな苗ですが、農家の皆さんが気を配って大切に育てたものな



上手になりペースが上がってきました

ので、丁寧に植えてほしい。」と述べました。田植え作業を始めて、生徒達は最初のうちは慣れない様子でしたが、どんどんペースも上がり上手に植えていました。植える面積は広めに確保してあったため、時間内に作業が終わらないと予想していましたが、予想以上のペースで進み予定の時間に終了しました。最後に全員で集合写真を撮り、予定していた全日程が終わりました。今後は秋に稲刈り体験と脱穀体験を行う予定です。



開店前の様子

JA店舗が100周年記念 謝恩セールで賑わう  
6月16日から18日の3日間、JA店舗で当JAの創立100周年を記念した謝恩セールが行われ大勢のお客さままで賑わいました。3日間は店舗内の商品もセール価格で提供されたほか、事前に全戸に配付した日用品の格安商品のリストがセール期間の3日間限定で注文を受け付けました。3日間、店舗で買い物された方に紅白もち、記念タオル、玉子10コ入1パックを日替わりでプレゼントされた等、

**キャッシュカード被害にご注意**

空知管内において、某医薬品会社を名乗る者から『代金は支払済みだが、戻す金額があるのでキャッシュカードを見せて欲しい』と電話があり、その後、訪問のうえキャッシュカードを預かり他金融機関から現金が引き出される被害が発生した情報を得ましたのでご注意ください。その他にも、警察官やJA職員を名乗る者によるキャッシュカード詐欺も発生していますのでキャッシュカードの取扱いには十分ご注意ください。

○被害に遭わないためには、

- ・絶対にキャッシュカードや通帳を他人に渡さない。
- ・警察や銀行などが暗証番号を訪ねたり、お預かりすることはありません。
- ・見知らぬ相手はもちろん家族を名乗るような場合でも、暗証番号を教えない。

— 金融課 —



込み合う店内

趣向を凝らしたセールが行われました。

**食育**  
生協「らいす&べじたぶる  
農業交流会」で田植え体験

6月1日、生活協同組合コープさつぽろの田植え体験が峰樺三区の圃場で行われました。

参加したのは生協組合員の家族20組で、JA青年部と朝取り野菜生産者の会の皆さんの応援を得て行われました。

好天に恵まれ絶好の田植え日和、最初に伊藤専務が「今回の田植え体験を通して米作りの楽しさ、難しさを学んでください」と挨拶を述べ、全員で記念の集合写真を撮り、JA担当職員から「苗が今後



曲がらないようにコ口引き



皆んな揃って昼食

順調に生育するように植える深さは、浅過ぎず深過ぎず、丁寧に植えるように」と等と説明されました。子供たちは、ぬかる水田に恐る恐る足を入れて転ばないように慎重に田植え作業を行っていました。青年部員とJA職員は苗配り等でサポートし予定した面積の田植えは終了しました。

昼食は、倉庫内で、参加者全員で峰産産なつぼしのおにぎりや朝取り野菜生産者の会の皆さんが提供してくれたアスパラの油炒め、漬物等を食べました。

昼食後、JAから参加者の皆さんに自宅で手軽に稲の栽培が出来る

るバケツ稲の提案説明や管内で行われている「土生米」作付圃場のドジョウの観察が行われ、参加者は水田にいるドジョウに興味深く見ていました。

今回植えた稲は、9月に稲刈り作業体験、10月に脱穀作業が予定されています。

**今年エルニーニョ現象発生の高確率高いと気象庁が発表**

気象庁は、「夏には5年ぶりにエルニーニョ現象が発生し、秋にかけて続く可能性が高い」との監視速報（6月10日）を出しました。

エルニーニョ監視速報は、エルニーニョ監視海域の海面水温が5カ月間平均して基準値より0.5℃以上高くなった場合に「エルニーニョ現象が発生」と発表し、エルニーニョ現象の定義は、エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の5カ月移動平均値が6カ月以上続けて+0.5℃以上であるため確定するのは半年後になります。

エルニーニョ現象とは、太平洋東部の赤道付近（ペルーとエクアドルの沖合から西へ太平洋のほぼ中心までの数千kmに及ぶ海域）の海面付近の海面温度が平年より高

い状態が続くことで、この現象が発生すると世界各地の天候も連動して変化し世界規模での異常気象が起こるとされています。

前回、エルニーニョ現象が発生した平成21年の夏の夏は、北・東・西日本で日照不足となり、多くの地域で梅雨明けが遅れ、九州北部、東海は梅雨明けが8月にずれこみ、中国・北陸・東北地方は梅雨明けが特定できませんでした。平成14年の夏は、北海道は冷夏となり、東北以南は平年並みに梅雨明けし、西日本などでは猛暑になりました。

＝岩見沢税務署からのお知らせ＝

◇ 相続税・贈与税・譲渡所得の個別相談について ◇

資産課税（相続税・贈与税・譲渡所得）に関する相談で、関係書類や事実関係など、具体的内容を確認する必要がある「個別相談」については、事前に電話にて相談日時を予約していただく「事前予約」をお願いしています。

本年7月から9月の相談日は次のとおりですので、事前予約をお願いいたします。

- ・平成26年7月4日(金)
- ・平成26年7月25日(金)
- ・平成26年8月8日(金)
- ・平成26年8月22日(金)
- ・平成26年9月12日(金)
- ・平成26年9月26日(金)

＊個別相談の予約方法

岩見沢税務署（0126-22-0810音声案内「2」）

一般的なご相談は、電話相談センター（0126-22-0810音声案内「1」）をご利用願います。

営農技術情報

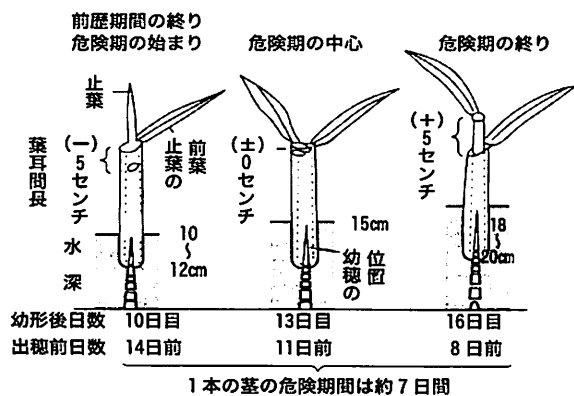
水稲

稲の生育は平年より2日ほど進んでいます。今月は幼穂形成期に入り栽培管理で重要な時期です。気象・土壌状況や病虫害の発生状況を把握した上で、適正管理に努めましょう。特に本年はエルニーニョ現象の影響もあり、気温が低くなる見込みとなっており、気温が低く、充分注意しましょう。

1. 幼穂形成期からの水管理  
前歴期間や冷害危険期の水管理の良否が、初数や千粒重を大きく左右します。

前歴期間（幼穂形成期から10日間程度）は、幼穂の伸長に合わせ

図1 生育に応じた水管理



て最大10cmを目標に徐々に深水にします。冷害危険期（前歴期間終了後10日間程度）は水深を18〜20cmに保つよう努めるとともに水温を確保できるようにします。

また、用水利用が集中しないよう、毎日少量ずつ水深を確保するようにしましょう。（図1）

2. ケイ酸質資材の追肥

幼穂形成期の1週間後を目安にケイ酸質資材を追肥しましょう。この時期のケイ酸分の供給は不稔の発生を軽減し、タンパク値の低下が望めます。特にタンパク基準が厳しく耐冷性の低い「ゆめぴりか」は追肥を検討して下さい。

尚、JA独自対策でケイ酸質資材に対する助成も行っておりますのでご利用下さい。

3. 病虫害

① いもち病

いもち病防除は、予防防除が最も重要となります。窒素過多や、復元田、基盤整備後の圃場などいもち病が発生しやすい圃場では予防防除を徹底しましょう。また、初発や発生源をいち早く発見する為にも予察は必ず実施しましょう。

また、予察に当たっては北海道病害虫防除所のBLASTAMによる感染好適日の観測を活用し、好適条件を満たした7日後頃に観察します。

② カメムシ

水田・転作畑の畦畔や雑草地、道路、河川敷等の草刈りで卵や若齢幼虫の減少を図ります。カメムシはスズメノカタビラに最も好んで生息しています。小麦収穫後の圃場は、麦わら処理後、鋤込むなど速やかに雑草処理を行いましょう。

③ フタオビコヤガ

近年、発生が増加しています。6月中旬から第1回の幼虫発生が見られます。上位2葉の食害などが無いか確認して、被害が大きい場合は、防除を検討しましょう。

畑作

1. 秋播き小麦

① 収穫準備

① 収穫適期を逃さないように、準備は早めに済ませましょう。

② コンバインや収穫調製施設の点検・整備を万全に整えておきましょう。

③ 気象予想や過去のデータ等を活用して綿密な作業計画を立てましょう。

④ 収穫適期について  
成熟期（子実水分40%・平年7月18日）は、7月上旬の穂水分で推定できます。

⑤ 穂水分について  
秋播き小麦の子実水分（穂水分）は概ね60%から40%前後まで

は、ほぼ直線的に1日当たり1.5%程度減少します。さらに、40%以下になると高温・晴天の場合、3〜5%減少します。

⑥ 収穫適期について  
収穫適期は、子実水分が30%を目安とします。

ただし、降雨等により穂発芽が心配される場合は、30%以上でも収穫を開始しましょう。

⑦ 収穫時の注意点  
赤かび病が発生している圃場及び倒伏部分は別刈りし品質低下を防ぎましょう。

⑧ 乾燥時の注意点  
子実水分30%以上の高水分小麦は収穫後速やかに送風温度40℃以下で乾燥を開始し、水分の低下に伴って乾燥温度を高めましょう。高水分を高温度で乾燥すると、退色粒の発生原因となります。

また、水分が18%まで下がったら、一時貯留（1週間程度）して乾燥機の稼働率を高めましょう。

⑨ 麦稈の鋤き込み  
麦稈は腐熟しづらいため、圃場外での堆肥化が基本です。しかし止むをえず鋤き込む場合は、ストローチップパー等で細断後、窒素成分量で4kg/10aを施用し、腐熟を促進させましょう。

⑩ 麦作跡地に緑肥の導入を  
有機物の補給と連作障害軽減を目的に導入しましょう。キカラシ

を10 a 当たり2 kgと硫酸20 kg施用します。生育期間約30日間あれば10 a 当たり3〜4 tの生草重が確保できます。尚、近隣地に白菜、キャベツ等の作物がある場合、ヨトウムシ類の発生に注意しましょう。

⑦秋播き小麦栽培予定地の土壤診断について

今年秋に作付予定の麦畑を対象に酸度（pH）の分析を無償で実施します。期間は特段設けませんので、希望される方は1点300 g程度を圃場番号、氏名を記入して営農販売課にサンプルをご持参下さい。

2. 大豆の管理

①中耕

着蕾後中耕で根を切断すると葉落ちし、着莢数が減少するので、中耕は開花前までに終了させましょう。

②追肥

根粒菌の着生が悪く、葉色の薄い圃場では追肥が必要です。追肥は開花始頃、窒素成分量で5 kg/10 a程度を目安に追肥して下さい。また、根粒菌の数が10個以下の場合、根粒菌の働き（窒素固定作用）が期待できませんので、開花

表1 大豆の主な殺菌剤

対象病害	薬剤名	使用倍率	適正使用基準	
			使用時期	使用回数
べと病・茎疫病	ランマンフロアブル	1,000~2,000倍	収穫7日前まで	3回以内
べと病・茎疫病	リドミルゴールドMZ	500倍	収穫45日前まで	3回以内
べと病・茎疫病	フェスティバルC水和剤	600倍	収穫7日前まで	3回以内
べと病・茎疫病	プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	収穫21日前まで	2回以内

時期の追肥は窒素成分量で10 kg/10 a程度とします。

③防除

○茎疫病

連作圃場や排水不良の圃場では茎疫病が発生しやすいので注意深く観察し、発病初期に防除しましょう。

○べと病

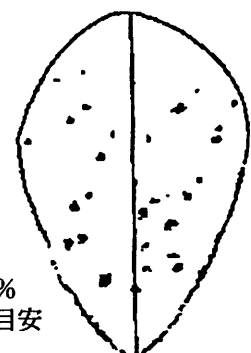
生育初期に感染した場合や多量に発生した場合は収量が低下しますので、図2を参考に、要防除水準に達した場合は防除を実施しましょう。

J Aみねのぶ直通電話番号(市街局番: 0126)

J Aの各課等に直接電話をかけることができ便利です。担当課が不明な場合は67-2111(総務課)におかけください。

	部署名	直通電話番号	ファクス
本部ビル	総務課	67-2111	67-2793
	金融課(貯金)	67-2114	
	金融課(共済)	67-2113	
	販売企画課	67-2112	
	J Aみねのぶ店	67-2946	
	監査室	67-2111	
営農事務所	渉外課	67-2115	67-2803
	農業経営課	67-2333	
	営農資材店舗	67-2332	
	営農販売課	67-2334	
	峰延給油所	67-2420	
精米所	67-2947	67-2793	67-2793

図2 べと病の要防除水準



上位病斑面積率2.5%  
=病斑数30個/葉が目安